

会 議 録

会議名		令和元年度 第2回 大野北地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)		中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512			
開催日時		令和元年6月25日(火) 19時00分～19時50分			
開催場所		大野北公民館 大会議室			
出席者	委員	21人 (別紙のとおり)			
	担当課等	7人	都市計画課5名、公民館館長代理 NPO 法人相模原ライズアスリートクラブ		
	事務局	3人	まちづくりセンター所長、同主査、地域活力推進員		
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数
					1人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由					
会議次第		1 あいさつ 2 議 題 (1) 地域活性化事業交付金について (2) 地区課題の検討について 3 出席委員からの情報提供 4 その他 次回日程について 5 閉 会			

審 議 経 過

1 開 会

山口会長あいさつ

(以後進行は山口会長)

2 議 題

(1) 地域活性化事業交付金について

事業名 若年層の運動能力&シビックプライド向上プロジェクト【新規】

申請団体 NPO 法人相模原ライズアスリートクラブ

申請額 367,000円

事業概要 ホームタウンである相模原市内で活動している中で、小学生の運動能力の低下を実感している。データでも小学生の体力テストのスコアは全国平均よりも低いという結果がでている。(平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」相模原市の結果より)

相模原ライズは、大野北地区を地元とするアメリカンフットボールチームであることから、アスリート達とのスポーツ交流を通じた取組を実施することで、シビックプライドを醸成し、地域の活性化につなげることや若年層の運動能力の向上に寄与できると考えた。さらに、大野北銀河まつりと同日開催することにより、相乗効果を発揮できるプロジェクトにしたいと考えている。

内 容 8月3日(土)鹿沼公園内軟式野球場(大野北銀河まつりと同日)

・13:30~14:30「とる」「投げる」の体験教室開始

・14:30~16:30「走る」かけっこ教室第1部、2部開始(定員小中学生50名×2を想定)

・16:30~17:00 相模原ライズ vs 青山学院のアメフトデモゲーム

結 果 採用すべきもの

<質疑応答>(委員の発言 申請団体の発言)

この事業は、大野北銀河まつりのイベントなのか。

大野北銀河まつり内のイベントである。

今年度限りの事業なのか。

毎年実施できたらよいと考えている。

(2) 地区課題の検討について

前回のまちづくり会議にて、今年度の地区課題については、昨年度のまちづくり会議で、次期総合計画等の策定に向けて、大野北地区の課題や対応方法について意見交換を行い、その内容をとりまとめた「報告書」の中で重点項目としたものを中心に地区の課題の候補を抽出することになった。

その重点項目の中には、平成26年度から継続してまちづくり懇談会のテーマとして「淵野辺駅南口周辺のまちづくりと周辺公共施設の再整備」が掲げられている。

一方で、このことについては、今年の3月に立ち上げられた「淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」においても検討が進められている。

このため、最初に都市計画課から市民検討会の進捗状況と今後の予定について説明し、その内容を踏まえた上で、今年度の地区課題を抽出していただくこととした。

続いて「地区課題 抽出シート」の記載方法について、事務局から説明した。

主な説明内容については、次のとおり。

【市民検討会】

- ・検討会については、これまで3回（3/2、3/30、6/1）開催した。
- ・第3回までの検討内容については、現地視察や意見交換を経て淵野辺駅南口周辺の現状と課題の把握を行った。
- ・今後については、先進事例を踏まえてまちづくりのアイデアを出しながら検討を行い、まちづくりの方向性を決めていく。

【地区課題 抽出シート】

- ・委員各自が考える地区の課題（または ）を選択
報告書の重点項目または重点項目以外の項目
報告書に記載がない、委員自身が思う地区の課題
- ・選択した項目の目次番号、必要に応じて「現状と課題」、「対応方策」を記入

< 質疑応答 >（委員の発言 事務局の発言）

複数の項目を抽出してもよいのか。

抽出する項目は、1つでお願いしたい。

結果、7月26日（金）までに提出いただくこと了承された。

3 出席委員からの情報提供

（1）麻布大学 白石委員

- ・麻布大学いのちの博物館 夏休み子ども教室

博物館で骨を学ぼう - タヌキの骨とシカの骨 -

日 時 7月25日（木）、26日（金）午前10時から午前11時30分まで

会 場 麻布大学いのちの博物館

（2）大野北第1高齢者支援センター 古明地委員

季刊紙NO. 21 令和元年夏号「大野北第1つうしん」が発行された旨の紹介があった。

4 その他

次回日程について、令和元年8月19日（月）午後7時から開催予定である旨を報告した。

5 閉 会

脇山副会長が閉会

以 上

令和元年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信 郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯 田 秀 雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知 治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇 山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行 雄	大野北地区社会福祉協議会	欠
6	小 川 紳 夫	大野北公民館	出
7	田加井 政 男	交通安全協会	出
8	荻 原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	出
9	原 田 武 久	大野北地区老人クラブ連合会	出
10	宮 崎 誠 生	相模原市消防団中央方面隊第三分団	出
11	内 田 清	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	出
12	大 石 清	大野北青少年健全育成協議会	出
13	清 水 博 登	青少年指導員大野北地区協議会	出
14	村 田 明 夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	中 山 章 治	小学校	出
16	田 尻 和 宏	中学校	欠
17	大 空 正 樹	小・中学校PTA	出
18	平 井 昇	青山学院大学	欠
19	河 本 真 治	桜美林学園	出
20	白 石 一 郎	麻布大学	出
21	神 谷 恵 子	福祉グループ「輪」	出
22	古明地 香奈子	大野北第1高齢者支援センター	出
23	木 幡 一 博	大野北第2高齢者支援センター	出
24	萩生田 康 治	にこにこ星ふちのべ商店会	欠
25	渡 辺 章	淵野辺駅南口商栄会	出
26	篠 崎 雅 夫	相模原市農業協同組合淵野辺支店	欠

令和元年度 第2回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和元年6月25日(火)
午後7時から
場 所 大野北公民館 1階 大会議室

次 第

1 あいさつ

2 議 題

(1) 地域活性化事業交付金について

(2) 地区課題の検討について

3 出席委員からの情報提供

4 その他

次回日程について

日 時 令和元年8月19日(月) 午後7時から

場 所 大野北公民館 大会議

以 上

令和元年度 大野北地区まちづくり会議委員及び役員

令和元年6月25日現在

1 委員(大野北地区まちづくり会議会則 第4条別表第1)

	氏名	所属団体等の名称	役職名
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	会長
		大野北地区社会福祉協議会	会長
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	副会長
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	副会長
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	会長
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	会計
6	小川 紳夫	大野北公民館	館長
7	田加井 政男	交通安全協会	理事
8	荻原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	会長
9	原田 武久	大野北地区老人クラブ連合会	会長
10	宮崎 誠生	相模原市消防団中央方面隊第三分団	分団長
11	内田 清	さがみはら国際交流ラウンジ	部長
12	小 方 明	大野北青少年健全育成協議会	会長
13	清水 博登	青少年指導員大野北地区協議会	委員
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	委員
15	中山 章治	小学校	淵野辺小学校校長
16	田尻 和宏	中学校	共和中学校副校長
17	大空 正樹	小・中学校PTA	共和小学校PTA副会長
18	平井 昇	青山学院大学	相模原事務部庶務課長
19	河本 真治	桜美林学園	地域社会連携室兼校友課課長
20	白石 一郎	麻布大学	総務部 地域連携課長
21	神谷 恵子	ボランティアグループ	福祉グループ「輪」代表
22	古明地 香奈子	大野北第1高齢者支援センター	センター長
23	木幡 一博	大野北第2高齢者支援センター	センター長
24	萩生田 康治	にこにこ星ふちのべ商店会	会長
25	渡辺 章	淵野辺駅南口商栄会	役員
26	篠崎 雅夫	相模原市農業協同組合淵野辺支店	支店長

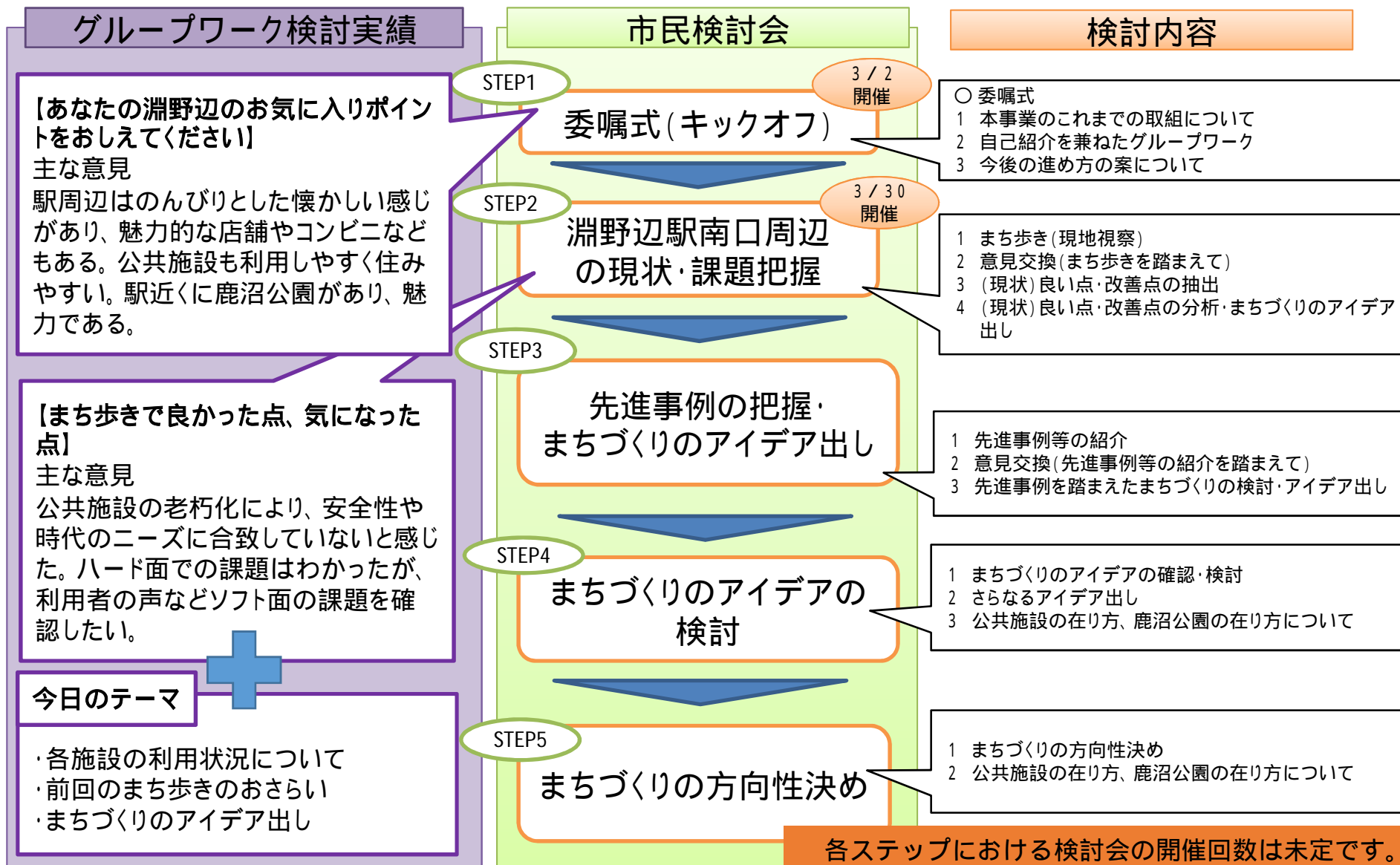
2 役員(同会則 第6条別表第2)

役職	所属団体等の名称	氏名
会長	大野北地区自治会連合会会長 大野北地区社会福祉協議会会長	山口 信郎
副会長	大野北地区民生委員児童委員協議会会長	脇山 寿満子
副会長	大野北公民館館長	小川 紳夫
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	飯田 秀雄
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	林 知治

令和元年度地域活性化事業交付金 申請事業個票 【大野北地区】 2

事業名	若年層の運動能力&シビックプライド向上プロジェクト	新規 継続(年目)	
申請団体名	NPO法人相模原ライズアスリートクラブ	代表者名 石井 光暢	
申請団体について	相模原市のホームタウンチームであるアメリカンフットボールチーム		
事業の背景	<p>ホームタウンである相模原市内で活動している中で、小学生の運動能力の低下を実感している。データでも小学生の体力テストのスコアは全国平均よりも低いという結果がでている。(平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」相模原市の結果より)</p> <p>相模原ライズは、大野北地区を地元とするアメリカンフットボールチームであることから、アスリート達とのスポーツ交流を通じた取組を実施することで、シビックプライドを醸成し、地域の活性化につなげることや若年層の運動能力の向上に寄与できると考えた。さらに、大野北銀河まつりと同日開催することにより、相乗効果を発揮できるプロジェクトにしたいと考えている。</p>		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・大野北地区小中学生の運動能力向上 ・アスリートとの交流やパフォーマンス体感を通じたシビックプライドの醸成 		
事業内容	<p>「走る」「投げる」「とる」の出張授業 「走る」に関してはランニングスキルを専門に教えている講師により、技術に加え、継続的な運動につながるよう「走る」楽しさを実技を通じて伝えていく。「投げる」「とる」に関しては青山学院大アメフト部の学生との協働により、アメフトを通じて楽しみながら参加者にスポーツを体験してもらう。</p> <p>アスリートのパフォーマンス体感 普段接する機会の少ないアスリートのパフォーマンスを間近で見ってもらう。アメリカンフットボールの模擬試合を行い、「自分もこんなふうになりたい。」「こんなことしてみたい」と心に強い印象を与えることで、地元チームへの愛着やスポーツを好きになるきっかけをつくる。</p> <p>流れ(時間は仮) 2019年8月3日(土)鹿沼公園内軟式野球場(大野北銀河まつりと同日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13:30~14:30 「とる」「投げる」の体験教室開始 ・14:30~16:30 「走る」かけっこ教室第1部、2部開始(定員小中学生50名×2を想定) ・16:30~17:00 相模原ライズvs青山学院のアメフトデモゲーム 		
総事業費	367,000円	申請額 367,000円	
対象経費	費目	金額	説明
	かけっこ教室講師委託費	150,000円	小中学生100名想定
	音響機材費	100,000円	音響機材貸与料
	宣伝チラシデザイン・印刷費	50,000円	大野北地区、小中学校を対象に約4,000枚配布
	熱中症対策費	15,000円	参加者(小中学生)に飲料配布
	テント設置費	30,000円	5張(観覧する親御さん用)
	ゼッケンレンタル	12,000円	60枚分(60×200円)、10枚は予備
	コーン・ミニハードルレンタル	10,000円	かけっこ教室で使用する器具
補事項説明			
審査基準	審査項目	審査の視点	
	事業目的や内容の公共	地域課題の解決や地域の活性化に資する事業か	
	事業内容の妥当性	事業内容が現実性のあるものか	
		事業計画のスキームが適切か	
		事業収支が事業を遂行する上で適正か	
	団体の事業実施能力	事業を実施する能力や主体性があるか	
	事業の継続性や発展性	事業の継続性や発展性があるか	
		これまでの取組みの成果が生かされているか	
他の団体への影響	他の団体へ活動を促すなど、良い波及効果を与えるような事業か		
継続効果(1)	継続することで、さらに地域の活性化につながる成果が得られるか		
継続効果(2)	3年間では、目的が未達成だが、継続することで達成できるか		
2分の1を越えた交付率の適用	まちづくり会議において、地域課題として議論がされているか		
結果	積極的採用	採用すべき	要調整

市民検討会のこれまでの検討状況について



各ステップにおける検討会の開催回数は未定です。

淵野辺駅南口周辺のまち歩きを行いました！

「第2回次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」を、3月30日（土）に開催しました。

当日は、淵野辺駅周辺にある図書館や公民館などの公共施設や、淵野辺駅南口のまちなみの見学を行った後に、良かった点や気になった点などについて、意見を交わしました。

次世代
ふちのベ
ニュース

Vol.3

淵野辺駅南口周辺には、どんな公共施設があるの？

淵野辺駅南口には、図書館、公民館、まちづくりセンター、鹿沼公園などの公共施設が集積しています。また、同じ地域には複数の大学のキャンパスや国の研究施設などの文教施設も多く立地しているという特色を持っています。

わー、いろんな施設があるんだね♪



淵野辺駅南口周辺の公共施設等の立地状況

青少年学習センター

S44年整備・3F 国有地を賃貸
最寄駅は矢部駅
年間利用者7.8万人
敷地面積4,506㎡
延べ床面積1,690㎡



さがみはら国際交流ラウンジ

民間施設を賃貸
年間利用者2.0万人
延べ床面積177㎡



鹿沼公園

公園種別 地区公園
供用開始 昭和45年
全面開園 昭和48年
公園面積 4.9ha



あさひ児童館

H25年整備・1F
リース
年間利用者1.3万人
敷地面積378㎡
延べ床面積176㎡



大野北公民館 大野北まちづくりセンター

S53年整備 3F
年間利用者
公民館11.6万人
まちセン8.9万件
敷地面積3,227㎡
延べ床面積1,730㎡



自転車駐車場

S54・H2年整備 2F
年間利用者154.8万人
収容台数3,821台
敷地面積2,742㎡
延べ床面積3,610㎡



市立図書館 視聴覚ライブラリー

S49年整備 2F
年間利用者54.6万人
蔵書約34万冊
敷地面積5,198㎡
延べ床面積4,112㎡



※各施設の利用者数は、平成29年度の実績です。

【施設を見てみよう】～さがみはら国際交流ラウンジ～

本市は、平成8(1996)年10月、日本人と外国人が同じ市民として「共に生きる」環境づくりを進めるために、市とボランティアとの協働の運営形態による、さがみはら国際交流ラウンジを設置しました。

外国人市民への支援や情報提供、また国際交流の場として、現在では、250名以上の個人ボランティア、53の団体ボランティアの皆さんによる活発な活動が展開されています。

学校や病院への通訳者派遣、国際交流フェスティバルの開催、国際理解の出前授業、各種機関誌の発

行等を行っており、近年では、日本語教室や外国につながるこどものための学習教室も開催しています。

相模原市には、現在1万4千人を超える（人口の約2%）外国人市民が暮らしており、増加傾向にあります。このため、今後もより一層、外国人支援や国際交流事業に取り組んでいきます。皆様の参加をお待ちしています。



ホームページ



「まち歩き」で見つけた、良いところ・気になったところ！

各施設では、職員から施設の設置目的や設備等の説明を受けながら、図書館のバックヤードである図書整理室や地下書庫、青少年学習センターのホールなど、普段見ることのできない場所を見学しました。

見学の後には、プロミティふちのべビルの会議室に集まって意見交換を行い、淵野辺駅南口周辺の魅力や課題を共有しました。

【良かった点、魅力】

- 公園に自然が多く、居心地が良い
- 駅周辺に公共施設が集まっていて便利
- バリアフリー化された施設が多かった
- 青少年学習センターが地域に密着しているなど...



〈市立図書館の地下書庫〉



〈鹿沼公園〉

古いものの中でも
残していくべき良さと
更新していくべき課題、
2つの要素があるね！

それぞれの施設の
つながりを考えること
も大事かも！

市民と一緒にまちづくりに
関われば、より良い空間が
できるんじゃないかな！

【気になった点、改善点】

- 建物や設備が古い（老朽化）
- 時代の変化に合わせて、新しくしていく必要がある
- 図書館が暗く、書架のあるフロアのスペースが少ない

など...

他にも
こんな意見があったよ！

☆グループワークの様子☆



有識者協議会の先生方から講評をいただきました。

今回は、ハード面に目がいった。ただ、その中で職員にどんな役割があって、市民がどんな形でそれに関わろうとしているのか、そもそもその施設にはどのような役割が期待されているのか、そのようなことも考えて検討していきましょう。

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」に関する情報は、市ホームページでご覧頂けます。

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/machitsukuri/1015393/index.html>

※市民検討会は公開で開催します。傍聴を希望される方は、詳細を市ホームページ等でご確認の上、お越してください。



★次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関するお問い合わせ・ご意見は…

【公園について】 環境経済局 環境共生部 公園課（電話：042-707-7022）

【まちづくりについて】 都市建設局 まちづくり計画部 都市計画課（電話：042-769-8247）

【公共施設について】 教育局 生涯学習部 生涯学習課（電話：042-769-8287）

E-mail：jisedai-fuchinobe@city.sagamihara.kanagawa.jp

事務局 大野北まちづくりセンター

FAX 042-755-6521

地区課題 抽出シート

【課題抽出の進め方】

- ・委員各自が考える地区の課題（または ）を選択してください。
- ・選択した項目の目次番号等、必要事項を記入してください。

（ にチェックしてください）

報告書の重点項目または重点項目以外の項目

選択した項目の目次番号（1～10）を記載：_____

選択した項目の「現状と課題」に記載されていない課題があれば記載

報告書に記載がない、委員自身が思う地区の課題

現状と課題

対応方策

記入者氏名：_____

本シートは、7月26日（金）までに事務局へ提出してください。（FAX可）

次期総合計画・都市計画マスタープラン
大野北地区まちづくり会議報告書

平成30年9月
大野北地区まちづくり会議

目次

(課題と対応方策)

- 1 都市計画・都市整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 2 道路・交通・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- 3 住環境・生活環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 4 自然・環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 5 【重点】産業・観光・商店街・・・・・・・・・・ P 7
- 6 安全・安心・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- 7 健康・医療・福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- 8 教育・子育て・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10
- 9 【重点】生涯学習・文化・スポーツ・・・・・・・・ P 11
- 10 地域コミュニティ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12

(付属資料)

- 会議経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14

1 都市計画・都市整備

現状と課題

JR 横浜線淵野辺駅周辺には、大野北まちづくりセンターや公民館、市立図書館など、建設から40年以上が経過している公共施設が複数あり、各施設の老朽化が進行しています。また、大野北地区においても、他の地区と同様、人口減少とともに急速な高齢化が見込まれることから、淵野辺駅南口を中心として、公共施設の複合化による都市的な機能を整備して、幅広い世代が活躍することができる場を創出することが求められています。

対応方策

幅広い世代の交流の場、次世代の育成の場、地域住民と外国人の国際交流の場、地域活動の場などの様々な機能を兼ねた拠点として、淵野辺駅南口周辺に点在している図書館や公民館等の公共施設を集約、複合化し、再整備することで、大野北地区から市内外へ文化を発信する交流拠点を創る（市民・行政）

- ・地域住民がアクセスしやすく、子どもから高齢者までが気軽に利用できる体育館などの運動施設を整備する（市民・行政）



大野北公民館（まちづくりセンター）



JR 横浜線淵野辺駅南口周辺

2 道路・交通

現状と課題

大野北地区では、交通不便地区における高齢者等移動制約者の生活交通を確保するために、コミュニティバスの実証運行に取り組んでいます。今後、住民がより暮らしやすいまちを形成していくために、コミュニティバス路線の維持・新設、道路交通環境の向上が求められます。

また、公共交通においても、JR 横浜線淵野辺駅は駅別乗降員数が市内各駅の中で3番目でありながら、快速列車の停車駅となっておりません。さらに、当駅利用者の安全性に配慮した、駅ホームの整備も課題となっています。

対応方策

道路交通環境の向上

- ・道幅が狭い又は交通量が多い道路（相模中央自動車学校から古淵方面への道路（市道淵野辺古淵）及び県道 57 号淵野辺駅北口入口付近交差点）に対して、一方通行、右折禁止措置、通行の時間制限などの規制をかける（行政・その他）
- ・慢性的な渋滞発生箇所（矢渕陸橋、上矢部交差点、淵野辺駅入口交差点、青山学院大学周辺など）の渋滞緩和策の検討をする（市民・行政）
- ・国道 16 号淵野辺十字路交差点の信号待ちの自転車・歩行者用スペースの確保、分離信号の設置等の検討をする（行政）
- ・宮前橋を拡張する（市民・行政）
- ・コミュニティバス路線を維持し、新しいルートを設置する（市民・行政・その他）
 淵野辺 古淵・町田方面
- ・コミュニティバスを地域内で P R することで利用促進を図る（市民）

公共交通の利便性の向上

- ・JR 横浜線快速の淵野辺駅への停車に向けた検討を進める（市民・行政・その他）
- ・JR 横浜線淵野辺駅ホームを拡張し、ホームドアを設置する（行政・

その他)

- ・JR 横浜線淵野辺駅北口エスカレーター付近へ街灯を設置する(行政)



コミュニティバス

3 住環境・生活環境

現状と課題

大野北地区は、多くの大学が立地され、大学生などの多くの若者が集まる活気あるまちです。今後もこれらの若者が社会人になってからも、この地域に住みたくなるよう、暮らしやすいまちづくりが求められています。

また、JR 横浜線淵野辺駅前の飲食店周辺については、ごみの夜間収集が行われるようになり、衛生面において改善されました。

しかし、ごみの分別や出す時間を守らない人がいるなど、住民のゴミ出しマナーが課題となっています。さらに、地区内に在住する外国人の増加に伴い、ゴミ出しルールの周知方法についても、多言語化などの対応が求められています。

対応方策

- ・地域の住民と大学生などの若者が交流する場を設け、地域の課題を共有し、暮らしに関する情報発信を積極的に行う(市民・その他)
- ・隣接市を含めた住民を対象に、ゴミ出しマナーの啓発を行う。(市民)
- ・ゴミ出しマナーについて、多言語に対応したチラシやアプリを作成するなど、情報発信を多様化する。(市民・行政)

4 自然・環境

現状と課題

大野北地区内には、鹿沼公園をはじめ、多数の公園や広場が整備されています。しかし、多くの公園や広場では、ボール遊びやスケートボードなどの利用について制限されており、子どもたちが自由に遊べる場所の確保が求められています。

また、大野北地区においては、生産緑地が多数存在しており、緑地保全・活用に係る対策の実施が求められています。

対応方策

公園等の整備

子どもたちがボール遊びをすることができる場所や家族で楽しめるレクリエーションの場を確保するなど、地域のニーズに応じた公園、広場の利用方法の検討を進める（市民・行政）

- ・地域住民の憩いの場である鹿沼公園については、スケートボードが使用できる場所を整備するなど、多くの人を楽しみ、憩うことができるように、防犯の視点も検討しながら、全面リニューアルによる公園の魅力向上を図る（市民・行政）

その他

- ・6次産業の推進などの取組により緑地を保全、活用し、乱開発を防止する。（市民・行政）
- ・境川周辺の遊歩道や休憩所、フェンス、街灯、サイクリングロード等を整備する（行政）



鹿沼公園（白鳥池）



鹿沼公園（野球場）

5【重点】産業・観光・商店街

現状と課題

JR 横浜線淵野辺駅付近にスーパーや飲食店などが増えたことにより、買い物などの利便性が高くなった一方で、商店街では活気がなくなり、商業施設における若者離れなどが課題となっております。そのため、駅付近の商店街の活性化、近隣の大学の学生などの若者向けの商業施設の誘導などの取組により、地域の方も暮らしやすく、多くの人が集まる、元気なまちづくりが求められています。

対応方策

商店街利用者用の駐車場や駐輪場への利用を呼び掛け、利用しやすいスペースを確保することで、来場者を増やして、商店街を活性化させる（市民・行政）

淵野辺駅の北口と南口の商業施設について、それぞれの特色をいかした店舗を誘導し、エリア全体の活性化を図る（市民・行政）

- ・ JAXA や複数の大学が立地し、図書館や公園などの公共施設も充実しているという、市内でも文化的な色合いの濃い大野北地区ならではの魅力を生かしたまちづくりを行う（市民・行政・その他）
- ・ 若者向けの商業施設を誘致し、近隣の大学生などの若者の居場所づくりを行う（市民・行政）
- ・ 商店街と大学生によるイベントの開催を継続して行い、商店街の活性化を図る（市民・その他）



JR 横浜線淵野辺駅北口周辺



青山学院大学陸上競技部優勝パレード

6 安全・安心

現状と課題

大野北地区では、青色防犯パトロールカーの導入による防犯パトロールの実施、「セーフティーエリア」指定による地域と金融機関、大学、警察と連携した防犯啓発活動の実施など、住民が主体となつての地域の安全・安心のまちづくりの実現に向けた取組が行われています。

しかし、自転車マナー違反者の増加、オレオレ詐欺をはじめとした特殊詐欺件数の増加などの課題が挙げられ、対策が求められています。

対応方策

交通安全の推進

- ・学校、自治会単位において、自転車事故防止を目的とした、教育、周知活動を実施する（市民・行政）
- ・自転車レーンの駐車車両の取締りを強化して、安心して自転車を利用できる環境をつくる（行政・その他）
- ・自転車マナーの周知の徹底、取締りを強化する（行政）
- ・「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」について、親子で見て分かりやすい方法により周知を図る（市民・行政）

防災力の強化

- ・災害時における行動の基本ルールを策定し、自治会未加入者を含めた地域住民全体への周知を図る（市民・行政）
- ・避難所運営訓練への参加の呼び掛けを徹底する（市民）

防犯機能の向上

- ・地域と警察との連携を強化し、振り込め詐欺などの特殊詐欺防止対策を目的としたセーフティーエリア活動などの啓発キャンペーンを実施する（市民・行政・その他）
- ・青色防犯パトロールカーの巡回による住民の防犯意識の強化を図り、あわせて、夜間の防犯啓発パトロールを実施する（市民）



青色防犯パトロールカーによるパトロール



市道相模淵野辺線の自転車レーン

7 健康・医療・福祉

現状と課題

地区内に、病院や歯医者などの医療施設が充実してきています。さらに、高齢者支援センターの増設、相模野病院が神奈川県周産期救急医療システムにおいて中核病院として位置づけられるなど、医療・福祉環境の整備が進んでいます。

しかし、近年、高齢化の進展に伴う認知症の人の増加、歩道の段差や老朽化（亀裂等）、点字ブロックの老朽化などの課題が挙げられます。そのため、医療体制の強化、歩道の整備、高齢者への支援活動などが求められています。

また、地区内では、日頃の健康管理の取組として、ラジオ体操やいきいき百歳体操などが行われています。今後は、子どもから高齢者までを対象に、幅広い世代の参加を促進しながら、このような活動に引き続き取り組んでいくなど、健康づくりに関する活動を地域全体に広めていくことで、皆が元気でいきいきとした生活を送ることができる地域づくりが求められています。

対応方策

- ・専門医の充実した配置による、休日や夜間の医療体制の強化を図る（行政・その他）
- ・歩道や点字ブロックの不具合を解消し、歩きやすい空間を整備する（行政）
- ・点字ブロックの点検パトロールを強化する（市民）

- ・ 認知症の人への理解を深め、気軽に挨拶するなどの日頃の関わりあい
を深めることで、みんなで助け合う地域づくりを行う（市民）
- ・ 高齢者に対して、病院への早期受診を推奨する（市民）
- ・ 住民一人ひとりが健康に対する意識を高め、地域全体で健康増進を目的
とした活動に取り組んでいく（市民）



いきいき 100 歳体操

8 教育・子育て

現状と課題

大野北地区においては、青山学院大学や麻布大学、桜美林大学といった大学や市立図書館などの文教施設が立地しており、文教都市としての環境が充実しています。

しかし、地区の人口増加に伴い、待機児童対策や子どもの居場所づくりの推進などの子育て環境の整備が課題として挙げられており、対策が求められています。

対応方策

- ・ 保育士を養成し、子育て環境を整えるための人材を確保する（行政・その他）
- ・ 人材バンクを組織し、地域と学校の交流の場をつくり、小中学生への地域の歴史文化を継承する。（市民）
- ・ 様々な理由により就学できなかった人の学習の機会を提供する場として、夜間中学の設置を検討し、高齢者や外国人などの多様な生徒の受

け入れ体制を整える（行政・その他）



あつまれおやこ（子育て支援事業）

9 【重点】生涯学習・文化・スポーツ

現状と課題

大野北地区は、地区内人口が6万人を超えているにもかかわらず、地区内の公民館が大野北公民館のみであり、諸室の稼働率も市内で最も高いことから、生涯学習や地域交流の場の提供が限られてしまっていることが課題になっています。そのため、施設の整備や既存の施設の有効活用などによる生涯学習の環境の充実が求められています。

また、地区の文化・歴史の若い世代への継承も課題となっており、イベントの開催や世代を超えた交流による周知活動が求められています。

対応方策

幅広い世代の交流の場、次世代の育成の場、地域住民と外国人の国際交流の場、地域活動の場などの様々な機能を兼ねた拠点として、淵野辺駅南口周辺に点在している図書館や公民館等の公共施設を集約、複合化し、再整備することで、大野北地区から市内外へ文化を発信する交流拠点を創る（市民・行政）

子どもたちがボール遊びをすることができる場所や家族で楽しめるレクリエーションの場を確保するなど、地域のニーズに応じた公園、広場の利用方法の検討を進める（市民・行政）

- ・地域住民がアクセスしやすく、子どもから高齢者までが気軽に利用できる体育館などの運動施設を整備する（市民・行政）

- ・ 区内を散策するイベントなどを開催し、地区の文化や歴史を伝える（市民・行政）
- ・ 大学施設内における諸室の一般開放を市民へ周知する（行政・市民・その他）



市立図書館



区内散策イベント（中央区ぶら散歩）

10 地域コミュニティ

現状と課題

大野北地区内においては、「ふちのべ大学（青山学院大学、麻布大学、桜美林大学などの学生たちと地域の人が連携する大学）」が設立され、大野北銀河まつりなどの地域行事の運営に学生が参加するなど、地域内での世代を超えた交流が活発になっています。また、国際交流ラウンジが地域住民と外国人の国際交流の拠点や支援となり、子ども食堂が設立され子どもの居場所づくりにつながっているなど、地区全体において、住民個々の「共生」の意識が高まっています。

しかし、他地区同様、自治会加入率の低下、地域交流の希薄化などが課題として挙げられています。こうした課題を改善していくためにも、地域の担い手の育成、地域交流の活性化に向けた取組が求められています。

対応方策

- ・ 青山学院大学、麻布大学、桜美林大学などの学生と連携して、幅広い世代を対象とした市民教室を開催するなど、学生と地域住民との交流を図る（市民・その他）

- ・昔から地域に住んでいる世帯と新しく転入した世帯が混合した組織を作り、地域イベントの開催などにより、幅広い世代による地域交流を進める（市民）
- ・自治会加入によるメリット（防犯、防災等）の周知を徹底し、自治会加入率の増加を図る（市民・行政）
- ・地域清掃活動への学生の参加呼び掛けを強化する（市民・その他）
- ・児童館や自治会館を有効活用し、住民が集まる地域活動の場を確保する（市民）
- ・ふちのべ大学の学生と地域住民の連携を強化し、幅広い世代によるまちづくりを進める（市民・その他）



自治会加入促進キャンペーン



地域と学生の連携によるイベント運営
（大野北銀河まつり）

会議経過

日程	会議内容	委員出席数
平成30年 5月21日	第1回 ・地域の課題（良くなった・悪くなった点）の抽出	19名
6月26日	第2回 ・課題と対応方策検討 【ハード分野】	23名
7月17日	第3回 ・課題と対応方策検討 【ソフト分野】	19名
8月20日	第4回 ・報告書のとりまとめ ・重点項目の検討	19名
9月18日	第5回 ・報告書のとりまとめ ・重点項目の検討	20名

会議の風景

